

PTAの活動紹介 第6回

子供たちの健やかな成長を願う、 学校・家庭・地域が連携したPTA活動 ～文京区立湯島小学校PTA～

文京区立湯島小学校

- 明治3年 開校
- 昭和22年 東京都文京区立湯島小学校に校名変更
- 生徒数/319名
14学級
- 校長/原 香織

文京区立湯島小学校は、湯島天満宮のすぐ近くにある、昨年度開校145周年を迎えた伝統ある小学校です。文京区立湯島小学校PTA(以下、「PTA」という。)は、本部役員会、学年委員会、保体・文化委員会、広報委員会、校庭開放委員会構成され、委員会を中心に、各行事等の運営を行っています。

○地域と伝統文化を大切にした取組

湯島小学校は、地域の方や専門家から指導を受ける特別授業を数多く行っており、PTAも積極的に参加しています。2年生の生活科では昔遊びの体験として、元PTA会長や父親たちが、子供たちにベーゴマを教えています。4年生全員、5、6年生有志等による湯島天神菊まつり出展のための菊の栽培には、文京委員会の皆さんや保護者サポーターが年間を通じて、関わっています。育てた菊は、湯島天神菊まつりで賞もとっています。

また、教員、保護者も湯島天神例大祭、梅祭りでの太鼓クラブの演奏など地域行事にも積極的に参加し、地域と伝統文化の伝承を大切にしたい取組を行っています。



菊の栽培を手伝う保護者サポーター



新一年生歓迎イベントでの活動

○父親たちも積極的に参加

各種行事の見守りを行う協力委員を全保護者から募るなど、全員参加型のPTA活動を目指しています。

父親が気軽にPTA活動に参加できるよう、父親クラブを発足させ、4年前から活動を開始しました。現在50名ほどの父親が参加し、校庭開放時には、校庭開放委員会をサポートするなど、休日や放課後の活動を積極的に行っています。また、新一年生歓迎イベントや卒業生を送る会など、父親クラブが中心となって行っています。こうした活動により、PTA活動に参加する父親が着実に増えてきました。

○開校145周年記念式典での餅つき会

昨年度、湯島小学校開校145周年の記念式典が行われました。それまで記念行事は10年ごとの実施でしたが、「5年ごとに式典を行わないと、式典を経験できない学年が出てきてしまう。自分の学校の周年をみんなで祝うという経験をしてもらいたい。」という学校とPTAの思いが一致し、五年目での実施となりました。

PTAが記念の手ぬぐいやベーゴマを製作し、生徒全員に配布したほか、校庭開放委員会と父親クラブは式典に併せて餅つき会を開催しました。当時、ノロウイルスなど感染症が流行していたこともあり、ついたお餅は、鏡餅にして各教室に飾り、児童には市販のお餅をお土産として渡しました。



餅つき会の様子

湯島小学校PTAは、紹介した活動の他にも、交通安全パトロールや、読書ボランティアによる読み聞かせなど、様々な取組を行っています。特に、近年は放課後全児童向け事業※への関わりや父親クラブの活動など、PTAが地域と学校をつなぎ、子供たちの豊かな学びや体験の場をつくるための活動へと広がっています。「全ては子供たちのために」という地域の先輩たちからの言葉を胸に、日々、活動を続けています。

※放課後全児童向け事業…放課後及び休業日に小学校の施設の一部で、地域の大人等の見守りのもと、児童が遊びや自主学習等を自由に行うことができる活動の場を提供する文京区の事業。学校・PTA・事業者等で構成される運営委員会が運営を行う。

一般社団法人東京都小学校PTA協議会は、都内公立小学校PTA活動の一助となるよう、様々な事業を行っています。6月に開催した「PTAのひろば2017～みんなで語ろう！PTA活動～」では、100名を超える参加者が、個人情報取扱いなどPTA活動や運営についての情報交換をしました。詳しくはHPに掲載しています。【都小P】で検索してください。